

とっておき!



『おそらにいった
たいせつなともだち
アルフィーからのおてがみ』

文/ドーン・マクニフ

絵/パトリシア・メラ

化学同人

E/マ

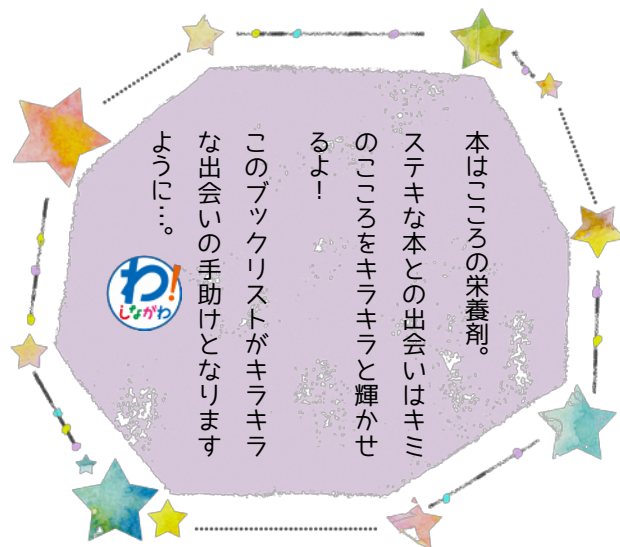


大切に育てていた犬のアルフィーとお別れで悲しみにふけていたイジーのもとに一通の手紙が届きます。それは、「おそらの犬のてんごくのいちばんすてきなくものうえ」に住んでいるアルフィーからでした。

アルフィーは、イジーに少しずつどんな暮らしをしているのかを話してくれました。いじあるなねこはいないけど、大きなおおかみを驚かせたり、犬のハンバーガーやさんや犬のアイスクリームやさんのことなどです。友だちもたくさんできました。紐や首輪をつけるも必要もないから、いつでも自由にできるそうです。

イジーはある日、そんなアルフィーに返事を書きます。もうぎゅってできないけれど、100歳になってもあすれないと。大すぎだよとつたえることができました。

子どもが大切にしているだれかを失ったとき、その気持ちを温かくつつみこみ、癒してくれる一冊です。親近感があくやあらかいタッチの絵とともに、命の大切さや永遠の愛について考えてみてはいかがでしょうか。



図書館おすすめブックリスト



キラ

キミのこころに☆めきを...

乳幼児



『ありがとうの
うたをうたえば』

文/マイケル・モーパーゴ

絵/エミリー・グラーヴェット

訳/すぎたななえ

小学館

E/E

6歳以上

美しい歌声で知られるクロウタドリが、ある歌を世界中の動物たちに伝えていきます。それは、地球に感謝するありがとうの歌でした。

動物たちの歌のハーモニーが地球に響きあたり、喜びが世界のすみずみへと満たされていきます。そして人々の心には、自然や平和に感謝する心がめばえていきます。

これは「ありがとう」を伝えることの大切さがわかる絵本です。戦争や平和、自然の大切さをお子さまといっしょに考えるきっかけとなるはずですよ。

2022年冬号

編集・発行：五反田図書館

0さい～

『たまごのうた』

0さい～

絵/市原 淳

フレーベル館

SE/7



たまごがあれたら、いろんな動物が出てきます。

ひよこがピヨピヨ、かいじゅうがガオガオ。いろいろな鳴き声が楽しいです。

最後は親子でぎゅ。ぜひ遊びながら読んであげましょう。

3さい～

『ひみつのさくせん』

E/カ

文・絵/ニコ・カウツィ

訳/橋本あゆみ

化学同人



なかよしの金魚にしよびよる、あやしいかげがみつ…。大切なともだちの金魚をまもるため、ねずみたちがひみつのさくせんを実行することに。はたしてともだちを助けることができるのでしょうか。

かわいらしくも力強い絵に引き込まれながら読めます。

5さい～

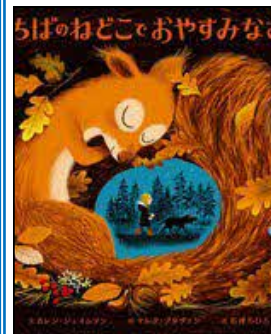
『おちばのねどこでおやすみなさい』

E/9

文/ルン・ジェイムズ 絵/マリア・アグヴェン

訳/石津ちひろ

ほろろ出版



長靴をはいた女の子が森の中をおさんぽします。くまさん、こじかさん、うさぎさん…森で出会った動物たちに「おやすみなさい」のあいさつのことばをかけてあげます。

秋の美しい森の風景が印象的なこの絵本とともに、おやすみ前の読み聞かせはいかがですか？

『パンダのんびりたいそう』

1さい～

文・絵/いりやまさとし

講談社

SE/1



大人気のパンダのたいそうシリーズ。今回は親子でのんびりしたいそうする絵本です。

おなかの上でたっぶんたっぶん、せなかのせてのんびりのんびり。最後におやつを見つけてしまい…。のんびりと体を動かしながらぜひどうぞ。

『ともだちのいろ』

E/キ

文・絵/きくちちぎ

小峰書店



くろい犬のくろちゃんがともだちに何色がすきか聞いていきます。さいごに友だちがくろちゃんに何色がすきなのか聞いたたら、くろちゃんは何とこたえたでしょうか。

色の名前に興味のある子におすすめです。墨画タッチの絵がほっこりする心あたたまる一冊です。

『はりねずみくんのゆきだるま』

E/ハ

文・絵/はらだよしこ

講談社



たくさん雪がふった日、小包みが無事に届くか心配していたひつじばあばに、はりねずみくんが目印のゆきだるまを作ることを思いつきました。がんばって作ったゆきだるまを目印に、ゆうびんやさんが届けてくれたものとはいったい何でしょうか？

やさしいタッチの絵がかわいらしく、心あたたまる絵本です。

クリスマスプレゼントにもぴったり！

『どんぐりポーとどんぐりプー』

2さい～

文・絵/藤本ともひこ

講談社

SE/7



ひとりではつまらないどんぐりのポーが、ともだちを探しに出かけます。ころころがりながら出かけていくとごっつんこ！どんぐりのプーと出会いました。さてふたりは、いったいどうなったのでしょうか。

ひとり遊びから少しずつ成長していく子どもにぜひ読んであげたい一冊です。

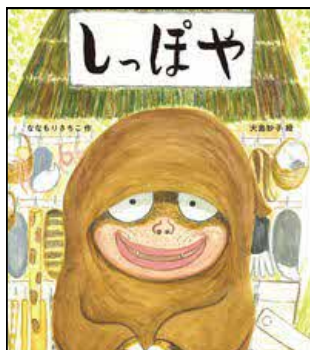
『しっぽや』

E/ナ

文/ななもりさちこ

絵/大島妙子

こぐま社



公園にあらわれたあやしいフードの男。「しっぽや」という看板の屋台を引いてきたこの男、専用ののりをつけるとピタリとおしりに貼りつき、自由自在に動かせる不思議なしっぽを売っていた。町中の人々がそのへんてこなしっぽにむちゅうになっていくが…。おもわずニヤリとあらってしまうシュールな絵本です。

『だれかのプレゼント』

E/9

文・絵/谷口智則

文楽館



クリスマスの日、プレゼントをそりに積み込んだサンタさんは、プレゼントをひとつなくしてしまいます。動物たちははやくもちぬしにとどけようと、空から落ちてきた「だれかのプレゼント」を探しリレーをはじめます。

サンタさんはプレゼントを取り戻すことができるのでしょうか。